

# 1回 交野市生涯学習基本計画推進委員会 議事録

日時:令和3年12月16日(木)13:30~15:00

場所:交野市立青年の家 202号

出席委員

門脇 薫 委員・北村 安揮男 委員・島田 喜次 委員・中 盛夫 委員・蒲田 秀佳 委員

事務局

北田 千秋 教育長・西岡 浩二 生涯学習推進部長・本多 章博 生涯学習推進部次長

村上 務 社会教育課長・北川 哲哉 社会教育課課長代理・川口 晶子 社会教育課係長

事務局	1. 委員の任命 1) 委嘱状交付 2. 案件1) 委員長・副委員長選任
委員	学職経験を有する者として委員長を門脇委員、当初の生涯学習基本計画策定にたずさわった経験のある北村委員を副委員長として推薦 → (異議なし)
事務局	委員会の議事進行は、交野市生涯学習推進委員会条例第5条第3校の規定により交代
委員長 副委員長	委員長・副委員長あいさつ
委員長	本日の委員出席情報の報告をお願いします
事務局	本日の出席委員は5人中、5人出席しており、委員会条例第6条第2項の規定により本会議が成立していることを報告
委員長	交野市会議の公開に関する指針に基づき、公開します → 傍聴なし 案件2) 交野市生涯学習基本計画(中間見直し)の諮問について議題事務局説明をお願いします
事務局	教育委員会より生涯学習基本計画推進委員会に対して、「交野市生涯学習基本計画中間見直しについて」諮問
委員長	配布している市民アンケート集計結果の説明をお願いします
事務局	案件3) 市民、団体アンケート調査について、生涯学習事業の現状と課題について まず先に、市民アンケート調査の概要と課題整理したものを説明
委員長	質問があればお願いします
委員	PC、スマホ使える方も多いが、使えない高齢者も多数いる。この問題(方法)をどうしていくか考える必要がある。紙媒体や放送なども考えるべき

事務局	<p>交野市内で水道管が破裂して JR の河内磐船駅から私市側の方が冠水してしまうということがあり、ホームページの掲載や、Twitter などの SNS で市民の皆さんと情報共有したが、実際はそれを見られない方も多く、山側に住まれている高齢者の方などは全く情報が入って来ないということもあった</p> <p>紙や声掛け、放送というところをしっかりと検討しないと、このままではすごく差が出てしまう。情報が受け取れないことが出てくる</p>
委員長	<p>広報にもいろいろありますよね。紙とホームページ、あとは Twitter</p>
事務局	<p>交野市自体は SNS や LINE などの情報発信もしていないという状況</p>
委員	<p>防災無線は聞こえている。Twitter などで調べればすぐにわかり、外に出ていた近所の人伝えた</p>
事務局	<p>地域の繋がりが非常に重要と思います。独居の方が居るか把握できていれば近所の方も声 掛けができるのでは？この生涯学習基本計画に係わるところでそういったことが課題</p>
委員	<p>感心を持ってもらえるような情報発信というものを上手く考えていけば、新しい人が来るという感じ。どれだけ情報発信をしても関心がなければ聞き流す。どのようにして関心を持たせるかということが一つの課題かと感じる</p>
委員長	<p>紙で配るとかではなく、口頭でお伝えしたのか</p>
委員	<p>口頭や、チラシも渡しましたが、やはり興味がなければ何にもならない。関心を持って一回やってみようか、自分が本当にできるものなら飛び込んでいこうという積極性が皆さんに欲しいなと思う</p>
委員長	<p>「きっかけ」ということですね。こんなのがありますよというのを張り紙や掲示板、メールで知らせる。一番良いのは教師が授業中に対面で熱意を込めて言うこと。声掛けというのは良いと思う</p>
委員	<p>インスタが一番良く見てもらえる。それまではブログをしていたが検索するのが面倒くさいと言われた</p>
委員長	<p>早く情報を伝えるという事でインスタを活用されている</p>
事務局	<p>ポラリス広場を利用される方が若い女性の参加で、インスタを使う層がはまったというようなところかと思う</p>
副委員長	<p>情報発信は今となっては SNS がやはり一番だと思うが高齢者の方たちはなかなかできない。ホームページに載せただけではホームページを見に行かないといけない。</p> <p>一つのイベントに対して1回でなく何度も見ていたら行きたいなと思う。回数を繰り返すことで人は動きたくなる</p>
委員長	<p>SNS は何回も繰り返しできる。紙だと一回で終わってしまう</p>
事務局	<p>サッと見るだけ。メッセージをだらだら書いても見なかったりする</p>
委員	<p>SNS だけでなく言葉で言うのも両方大事</p>

委員長	情報発信で思い当たるのは外国人の市民の方ですが、やはり外国語で提供というのはなかなか難しいか
事務局	そうですね
委員長	日本人側がどのくらいやさしい日本語で話せるか、今は各自治体ですごく言われています。ホームページも英語、韓国語、中国語、各国あれば良いですが。例えば寝屋川市を調べてみたらやさしい日本語というタブがあって、そこをクリックしたらフリガナが振ってあって分かち書きがされて簡単に書かれています。そういう取り組みをされていて感心しました
委員長	続きまして、団体アンケートの集計結果について説明をお願いします
事務局	団体アンケート集約した結果を基に概要と課題整理したものを説明
委員	ホームページを見て参加したい。初心者も随時参加可としていたが、教えるのに時間が掛かるため、初心者のみ集めて教室を開催。教室を開催されないと初心者の方は参加したくてもできない。その為広報などは時間がかかり、期間が空くとやりたい気持ちが薄れていく。「教室運営」のやり方に悩む
委員長	教室運営というのはいろいろなケースで当てはまると思う。レベルで分けるのはどうなのかというところですね
委員	本当にやりたい人、時間が掛かる人が時間を掛けてやった方が、後も続きます
委員長	外国人学習者の日本語指導においても、もちろん日本語にすごく差があります。検定試験に合格したいとか、日本語のボランティアの人も教えないといけないという意識がある。ある学習者はラーメンの袋を持って来て、この読み方を教えてくださいと言う。それは何が入っているかを知りたいからであって、決して教科書でこういう風に教えてくださいというニーズではなかった。学習者が何を求めているのかというのを聞いてと、そういう話をしたこともあります
委員	子育てサポーター養成講座を開催しており、地域の方に子育てする人達を優しく見守れるような方になって欲しいということで養成講座を開催。交野市の中の子育て支援や私たちがどういう理念でポラリス広場をしているか、興味を持ってくださった方が来てくれる。という形が一番理想。なかなか来られないということもあります。でも利用者さんが私たちの様になりたいと来てくださってスタッフになっていただくという風になってきていて、少しずつ若返ってきている気はします。地域と繋がっておかないといけないなというのは一番感じている
委員	いつも(応募)を出す時に新たな団体の電話番号とかを聞かれて登録する、その窓口ありますか？
事務局	問い合わせ先というところですよ？ 交野市の社会教育課が生涯学習の登録して頂いている団体の窓口みたいなどころにはなっております。まず、興味があるという方に、団体の長に電話番号をお伝えしても良いか？という形での繋ぎはあります
委員	実際、数はどうですか？

事務局	<p>正直なところ、数はあまりないです。</p> <p>テニスが凄くブームになったら、テニスに興味を持たれた方が教えてもらえるところはどこかないですかと来られたりしました</p>
委員	<p>窓口だけで他には、交野でこういうイベントをやりますとかいう発信はしていないのですか？</p>
事務局	<p>踏み込んだ形ではできていない</p> <p>ボランティアや地域活動の窓口は実際にインターネット上には載っている。『わいわいネット』という形ではあります。わいわいネットを知っている方がアクセスするという形になっているため、交野市民がみんな知っているとは限らないので、周知というのは大事</p>
委員	<p>防火避難図があるが、小さくて見えない。目的に応じて一番ベストを考えて貼らないと意味がないのではないかと。</p> <p>掲示板の使い方をもっと分かりやすく、どんな団体がどんな活動しているのか掲示板を活用する考えも必要がある</p>
委員長	<p>工夫があったら足を止めるのではないかと？そういうご意見ですね</p>
事務局	<p>一例として、商店街では個人のお寿司屋さんで100円寿司、一般の消費者として入りやすさではどちらを選びますか？当然入りやすいのは100円寿司。個人でやっているお寿司屋に入りにくいのは、いくら取られるのかと、ここの店主はどんな方だろうかとか。敷居が高い</p> <p>それは市民活動も一緒。市民活動もどんな方がやられているのか、そんな感覚で一步踏み出せない。こういうことをやっているというところも大事。こんなことをやっているという中身を持たせるというのも大事だろうなどは思っています。関心を引き寄せるという発信も大事ですが、やっている側もこういう事をやっている、こういう人たちがやっていますという入りやすさもやはり必要なのかなとは思っています</p>
委員長	<p>先ほどの情報発信の話の時はツールというか方法の話でしたが、その中身を見せるといふ、そういうお話かと思えます。</p>
事務局	<p>総合型地域スポーツクラブ・・・団体活動の中で新しい方が入って来ない、担い手が不足している。総合型地域スポーツクラブに行けば、いろんな複数の種目の教室があり、先生は団体に所属している方で繋がっていくような取り組み。これが「きっかけづくり」</p>
委員	<p>これは既にもうやっていますか？</p>
事務局	<p>まだです。取り組みとしては進んでいて、これから考えていく</p>
委員長	<p>市民の皆さんの中ではそれぞれ得意な分野がおありですので、その方がこんなのをやるよ、体験しませんかと軽く伝えるとか、友達と一緒にというのは良いでしょうね、知っている人と一緒に</p>

副委員長	<p>団体に入っていて、なぜ人が入って来ないか。僕らは20、30歳くらいから入っていて、もう今は40、50。みんなが自分の友達を探すけれど、もう20年経ったら誰もいない。団体が全員、年がいつている。僕らが入った年の年代はいないです。</p> <p>スポーツ団体とかPRをやっても、なかなか人は来ない。商売でもチラシを1,000件撒いても一件ぐらいのレベル。やはり数PR打って目に付ける。全然知らないところに飛び込んで来るより、何かきっかけがないとなかなか難しい</p>
委員長	<p>多数のご意見をいただきました。これらの意見を基に中間見直しに反映していただければと思います。他に意見等はありませんか？</p> <p>なければ案件は以上で終了となります</p> <p>一回目の委員会は、これで終了いたします。次回の会議については追って開催案内を送付します</p>